

# こだま

ISSN 0915-8782

第216号  
2024. 1



金沢大学附属図書館報 “こだま”

<https://library.kanazawa-u.ac.jp/>

とぼら館めぐり #3

## 泉鏡花記念館



鏡花生誕150年

「金沢の三文豪」のひとり，泉鏡花の生誕150年を迎えた2023年11月，とぼら館めぐり #3「泉鏡花記念館」を開催しました。今号では，文豪・泉鏡花と，泉鏡花記念館訪問の様子についてご紹介します。



### とぼらとは？

「とぼら」は金沢大学附属図書館学生ボランティアの愛称です。館めぐりの他にも，読書会や選書ツアー，イベントの企画など，様々な活動を行っています。詳細は右記の二次元コードからご確認ください。



泉鏡花記念館



泉鏡花（1873-1939）は明治6年11月4日生まれ。本名を鏡太郎といい、明治から昭和初期にかけて活躍した金沢出身の小説家です。

同じく「三文豪」のひとりである徳田秋聲（1871-1943）らと並んで尾崎紅葉に師事し、共に「紅葉門下の四天王」と呼ばれました。

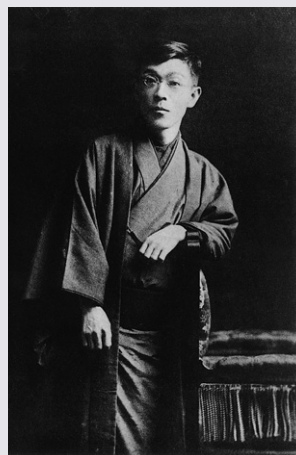
明治28年、22歳で発表した『夜行巡査』『外科室』が注目を集め、以降も『高野聖』などに代表される、幻想的で浪漫あふれる作品を数多く生み出しました。

参考：「いずみ-きょうか【泉鏡花】」，“とくだ-しゅうせい【徳田秋聲】”，  
日本人名大辞典，JapanKnowledge，<https://japanknowledge.com>，  
（参照 2023-11-16）

代表作：『高野聖』『婦系図』『歌行灯』など

## 泉鏡花

いずみきょうか



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)  
※上記を加工（一部切り抜き）したもの



2023年11月12日、小雨のなか金沢市下新町にある泉鏡花記念館を訪れました。

記念館は、泉鏡花の生家（明治期に火災で焼失）跡に建てられた木造二階建と土蔵三棟を改修・整備したものです。

今回で3回目となるとぼら館めぐりには、とぼらメンバーを含む9名が参加し、本学の大学院修了生でもある穴倉玉日学芸員にご案内をいただいて館内を見学しました。



鏡花父子像



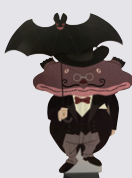
穴倉学芸員から説明を受ける参加者

常設展示室では、加賀象嵌の彫金師であった父・清次をはじめとする縁のある人々の写真や、鏡花生前の愛用品などと共に、鏡花の辿った生涯が紹介されています。

幼少期に母を亡くした鏡花に大きな影響を与えた女性たちや、生涯敬愛しつづけた師・尾崎紅葉、同郷で同門の徳田秋聲との関係性についても、展示に沿った様々な逸話を交えてご説明いただきました。

また、常設展示室奥の「鏡花本」と呼ばれる美しい木版装の装丁を間近に見られる一角では、引き出し型の展示ケースを開けた参加者が熱心に見入っていました。

## 泉鏡花記念館を訪ねて



生誕150年記念特別展  
「再現！番町の家」  
会期 2023.10.01-2023.11.26

鏡花のマスコットキャラが家の中を歩き回るWeb版展覧会もぜひご覧ください！  
2023.10.01-2024.03.31



企画展示室では、生誕150年記念特別展「再現！番町の家」と題して、鏡花が後半生を過ごした東京の邸宅（空襲で焼失）が写真や遺品をもとに再現されていました。なんと、座布団と鳩時計以外はすべて本物とのこと。

執筆机や執筆用の下敷き、自筆原稿の展示からは、鏡花が当時どのように執筆していたのかを思い浮かべることができます。

御神酒徳利の水で墨を磨るだけではなく、原稿用紙に振りまいてお清めをしてから執筆にかかる逸話には、どこか鏡花ならではのおもしろみがあり、穴倉学芸員のご説明を聞いた参加者からも笑みがこぼれていました。

企画展示室の出口付近には、鏡花が蒐集していた兎の置物が数多く展示されていました。驚いたことに、これはコレクションのほんの一部なのだとか。

このほか、ミニシアターやミュージアムショップ、『絵本 化鳥』のキャラクター「鯢鯨博士」のパネル（左）などもあり、大変充実した見学ツアーとなりました。

## 泉鏡花生誕150年記念展示「金大生のための泉鏡花入門」

2023年10月31日(火)～12月1日(金) 中央図書館カウンター前にて開催

### 泉鏡花に関するお薦め本11冊

上記企画展示に際して、泉鏡花記念館の穴倉学芸員に、鏡花に関するお薦め本を解説つきで11冊（p.3）ご紹介いただきました。詳細は、附属図書館Webサイトにて、こだま別冊（右）として公開しています。ぜひ併せてご覧ください。

別冊はこちら



金沢大学図書館所蔵  
『草迷宮』（初版本）

草迷宮



泉鏡花記念館は三度ほど訪れたことがあります。今回は記念館で働かれている方から詳しいお話を聞きながら展示物を見て回ったので、以前より泉鏡花の「ひととなり」というものをもっと知ることができたような気がします。それに加え番町の家展示に関する説明から歴史資料保存の重要性というものもまた再認識することができました。－清水彩聖さん

私が泉鏡花記念館を訪れたのは今回が初めてでした。泉鏡花の潔癖症やうさぎの置物の数々、周囲の人々が後世まで残そうと尽力したこと、今の泉鏡花記念館があるということなど、一人で館内を見るだけでは知ることができないような泉鏡花や展示物についてさまざまなお話を聞くことができ、とても楽しい時間でした。－布田紗彩さん

## 参加者の感想

今まで泉鏡花については金沢三文豪の1人であるということしか知らなかったのですが、彼の人柄や性格、他の文豪との関係性など泉鏡花の文章を読むだけでは理解しにくいパーソナルな部分を知ることができたので良かったです。また、解説してくれた方の知識が深く、1人で見学に行く以上の学びを得ることができました。－北穂奈美さん



新資料の説明を受ける参加者



穴倉学芸員との記念撮影

## Q&A

穴倉学芸員に  
お聞きしました！

Q

記念館のいちばんの見どころはどこですか？

A

生家自体は明治25年に焼失しているため、建物は異なりますが、鏡花が生まれ育った地域の面影が残る場所で作品や遺品を鑑賞できるのが最大の魅力です。またレプリカは極力少なくし、できるだけ鏡花が実際に使っていたものや自筆原稿、生前に刊行された初版本などを展示しています。

Q

鏡花全集には香道<sup>もみじの</sup>(注)の「紅葉賀」がデザインされていますが、なぜですか？

A

尾崎紅葉が自身の雅号にちなみ、源氏香図の「紅葉賀」を著作の意匠などに用いたことから、鏡花も師にあやかって自身の家紋代わりに「紅葉賀」を愛用しました。黒紋付や玄関灯などに確認されていますが、その他の日用品にはあえて「花宴」を使用するなどして、師への敬意を示しています。



注：各種香木の香りを鑑賞する芸道。このうち源氏香では、5種の香の組み合わせを線で表現し、「紅葉賀」を含む源氏物語の各帖の名がつけられている。



Q

鏡花の人となりについて教えてください。

A

30代の頃の病気を機に極度の偏食と潔癖症に陥り、遺品には携帯用のアルコール消毒器や、キセルの吸口をカバーする千代紙製のキャップ、空気を消毒できるとされるお香などが残っています。また、亡き母に教わって、自身の干支から数えて七つ目の兎のものを愛玩し、何百もの兎グッズを蒐集しました。

Q

鏡花と秋聲は仲が良かったのですか？

A

同郷・同門の二人ですが、両者の師である尾崎紅葉をめぐる姿勢の違いもあり、「激怒した鏡花が火鉢を飛び越えて秋聲を殴った」という逸話も。鏡花の書斎だったり、出版社の社長室だったりと言者によって舞台にズレもあり真相は不明ですが、二人の不和は文壇でも知られていたようです。

Q

たくさんある鏡花作品のなかで、隠れた名作があれば教えてください。

A

個人的には傑作だと思いますが、意外と知られていないのが能登の和倉温泉を舞台とする『山海評判記』。鏡花本の装幀を多く手掛けた小村雪岱の挿絵付きで連載された、妖しいことこの上なし！の長篇小説です。鏡花は執筆前に、実際に能登へ取材旅行に訪れています。鏡花渾身の怪作です。

- ・『泉鏡花生誕一五〇年記念 鏡花の家』平凡社、2023
- ・『日本橋』(岩波文庫)、岩波書店、2023
- ・『高野聖・眉かくしの霊』(岩波文庫)、岩波書店、2023
- ・『絵本龍潭譚』国書刊行会、2023
- ・『A Bird of a Different Feather : A Picture Book』英語版絵本化鳥、国書刊行会、2017

- ・『鏡花夢幻』(白泉社文庫)、白泉社、2000
- ・『初稿・山海評判記』国書刊行会、2014
- ・『山海評判記・オシラ神の話』(ちくま文庫)、筑摩書房、2013
- ・『草迷宮』初版本、春陽堂、1908
- ・『水木しげるの泉鏡花伝』小学館、2015
- ・『鏡花全集』第1刷、岩波書店、1940-1942

【ロゴ・ポスター提供、記事協力：泉鏡花記念館】



## シリアルからパラレル思考へ



日頃より私は学類生、大学院生に講義、演習や研究指導を通し、「学び方をしっかりと学んで下さい」と言い聞かせています。と言うのも、ここ数年、学生の実験レポートを見て思うことがあります。以前は、実験結果に対する考察には、参考文献として教科書や参考書(執筆者、書籍名、頁数、発行年月日など)を引用し記述していましたが、今ではインターネットのURLの記載をよく目にします。記述もそのまま「コピペ」するケースも多く見受けられます。確かに、私たちはインターネットに容易にアクセスできる環境にどっぷりつかっています。そこでは単純な課題、解決については、答え探しが大きな努力も必要としない、検索という形で容易に「コピペ」できます。言い換

えると、私たちは安易な答え探しが可能な世の中に生きてると云えます。では、答え探しが容易にできない課題に直面した場合、さてどうすればいいのでしょうか。その時には私たちは自分の頭で考えるしかありません。私は、課題を前に、頭の中にこれまで蓄積してきた知識や経験を組み替えることこそが、「考えることの本質」ではないかと思っています。インターネットのようにシリアルにひとつずつ情報が出てきて、ある特定の知識を得たいときには非常に便利なツールですので、「コピペ」は否定しません。けれども、講義や研究を通して色々なことを体験し、経験し、知識を蓄え、それを柔軟に組み合わせ、組み替える、すなわちパラレル思考を持って新しいものを創造するという訓練がとても大切で、学生には講義や研究を通し「学び方・考え方を学んでいってもらいたい」とと思っています。

何冊か本を紹介します。いろいろと考えを巡らせては如何でしょうか。

	書名 著者・出版事項
1	ベンチの足 佐藤雅彦著、暮しの手帖社、2021.3
2	ごめんなさい、もしあなたがちょっとでも行き詰まりを感じているなら、不便をとり入れてみてはどうですか？ 川上浩司著、インプレス、2017.3
3	はみだしの人類学 松村圭一郎著、NHK出版、2020.4
4	ミニマル料理 稲田俊輔著、芝田書店、2023.2

※1冊ずつの紹介文は、図書館教員おすすめ図書展示コーナー及びWebサイトでご覧いただけます。



## パケ駐日欧州連合大使が講演

10月20日(金)中央図書館AV室でEU情報センター講演会を開催し、ジャン=エリック・パケ駐日欧州連合大使が「変化する世界の中の日・EU関係」と題して英語で講演を行いました。この講演会は「日・EUフレンドシップウィーク2023」の一環で開催したもので、教職員・学生ら76名の参加がありました。



## 金沢大学ボキャブラリーコンテスト2023 結果発表！

10月10日(火)総合教育棟A1教室で、英語の語彙力を競う「金沢大学ボキャブラリーコンテスト2023」(国際基幹教育院、未来創成教育環主催、附属図書館共催)が開催され、以下の結果となりました。受賞おめでとうございます！

1位 長響さん、坪内貴之さん 3位 神保航大さん 4位 栗林麗華さん 5位 高桑健さん、板倉光助さん  
7位 荒井成美さん、嶋崎幹大さん、坂本伸志さん 10位 北本陽夏さん 11位 影山慧さん



## 2024年1～3月の開館カレンダー

中央図書館	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 8:45-22:00 2 8:15-22:00 3 8:45-17:00 4 9:00-17:00 5 8:45-12:00 6 休館 Closed	1 7 8 9 10 11 12 13 Jan. 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 4 5 6 7 8 9 10 Feb. 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	3 4 5 6 7 8 9 Mar. 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
自然科学系図書館	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 8:45-22:00 2 8:45-17:00 3 10:00-17:00 4 8:45-12:00 5 休館 Closed	1 7 8 9 10 11 12 13 Jan. 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 4 5 6 7 8 9 10 Feb. 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	3 4 5 6 7 8 9 Mar. 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
医学図書館	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 8:30-22:00 2 8:30-17:00 3 10:00-16:00 4 10:00-17:00 5 休館 Closed	1 7 8 9 10 11 12 13 Jan. 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 4 5 6 7 8 9 10 Feb. 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	3 4 5 6 7 8 9 Mar. 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
保健学類図書室	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 8:45-22:00 2 8:45-17:00 3 10:00-17:00 4 休室 Closed	1 7 8 9 10 11 12 13 Jan. 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 4 5 6 7 8 9 10 Feb. 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	3 4 5 6 7 8 9 Mar. 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

## 思考の森キャラクター「バンクマ」お披露目



11月15日(水)中央図書館「思考の森」(金大史を通観し、大学で学ぶ色々な学問への入口となるスペース)で「バンクマ」お披露目セレモニーを行いました。セレモニーでは、愛称を発表後、考案者の岡本尋さん(先導学類2年)に杉山図書館長と松永資料館特任助教から副賞がプレゼントされました。

## 金大図書館時習基金報告

2023年9月23日～2023年12月20日

●寄附件数 3件

設立からのご寄附累計  
31件/1,279,267円  
ありがとうございます



## 編集後記

泉鏡花記念館及び穴倉学芸員のご協力をいただき、大変充実した号となりました。厚く御礼申し上げます。(鏡花作品を読んだことがない方も、ぜひこの機会に記念館を訪ねてください！)

令和6年1月9日発行 発行：金沢大学附属図書館 編集：広報委員会【記事担当：香川文恵・野田晶子・遠藤優紀】